

2024年6月11日(火)16:30~18:00
NII 学術情報基盤オープンフォーラム2024
~対話で進化する学術研究プラットフォーム~

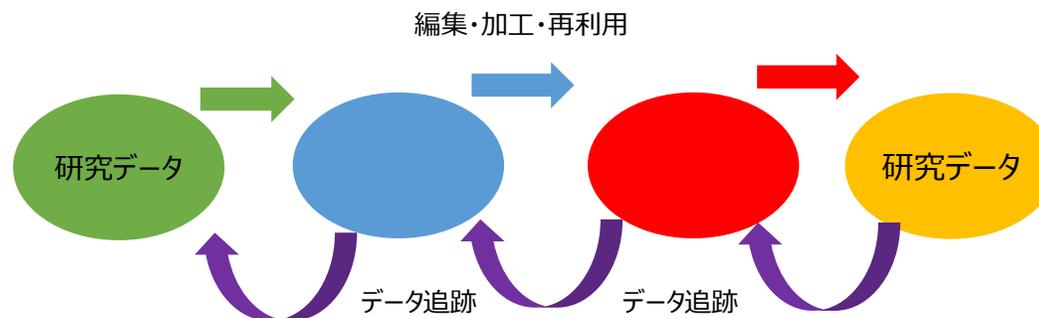
これからのデータプロビナンス機能 (コンセプト)

国立情報学研究所
オープンサイエンス基盤研究センター
下山 武司

2024年6月11日

内容

- NII RDCにおけるデータプロビナンス
 - データプロビナンスとは
- データプロビナンスのビジョン
 - 研究データの信頼性向上・利活用推進
- データプロビナンス機能
 - 利用シナリオ



NII RDCにおけるデータプロビナンス機能

プロビナンスとは

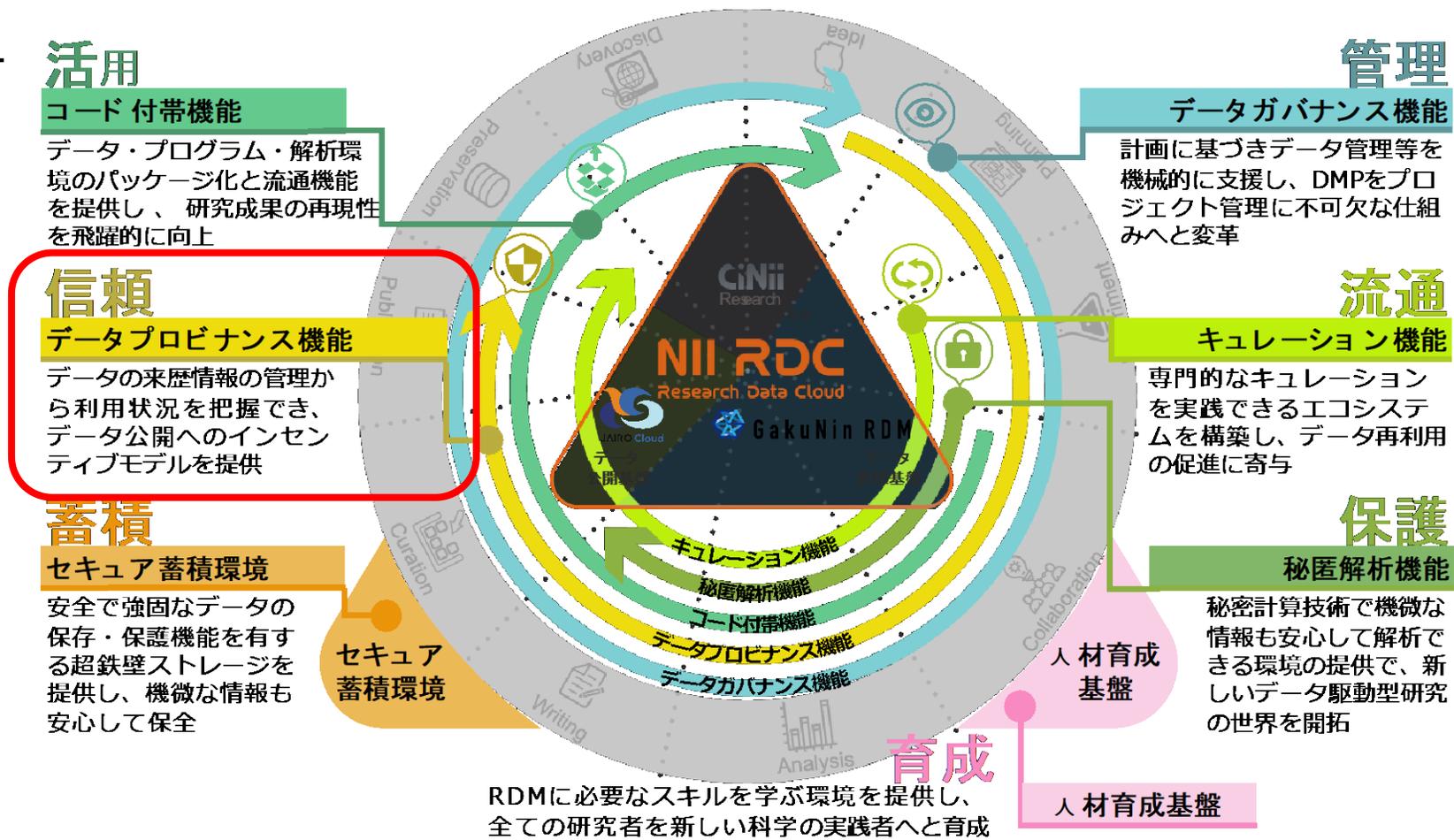
- データや物の**来歴**に関する情報

データプロビナンスの目的

- データや物の**信頼性・利用価値**を向上させること

データプロビナンス機能

- 研究データの**生成・加工・分析**等、ならびにその**実施者**に関する情報の収集ならびに連結により研究データの**来歴**を見える化する機能



NII RDC 研究データ基盤

データプロビナンスのビジョン

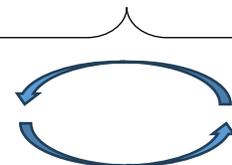
豊かな社会の実現
研究成果の社会全体への還元

goal

オープンサイエンス

aim

高信頼性



利活用推進

purpose

研究データ生成・保存における
「来歴情報」の記録
による高信頼性

研究データ利活用時における
「来歴情報」の確認
による情報提供者へのフィードバック

保存・共有

データガバナンス

データプロビナンス

キュレーション

データ再現性

function

ストレージ/リポジトリ

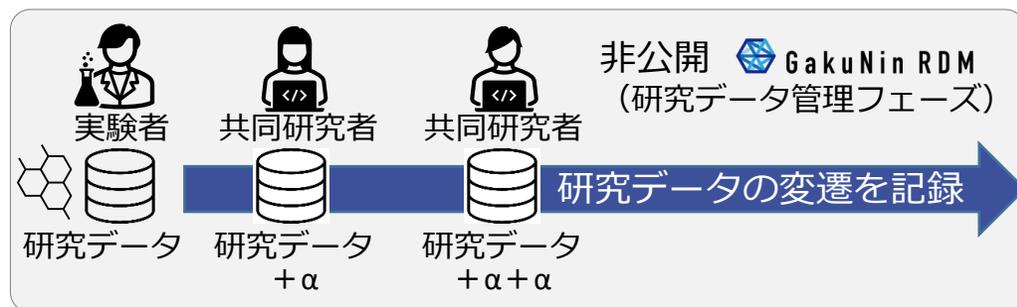
研究データポリシー策定
DMP・ガバナンスシート

メタデータオントロジー
プロビナンスフォーマット

fundamental

データプロビナンスの付与による効果

非公開研究データに対するプロビナンス



研究データ生成・保存・編集時に適切に付加されたデータプロビナンス情報の参照

研究データの高信頼性

公開された研究データのプロビナンス



研究データ利活用時におけるデータ提供者へのフィードバック

研究データの利活用推進

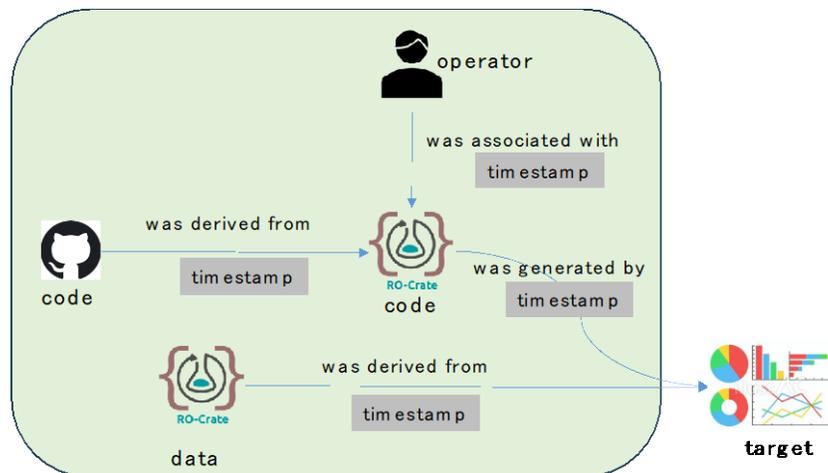
データプロビナンス機能

● 機能の概要

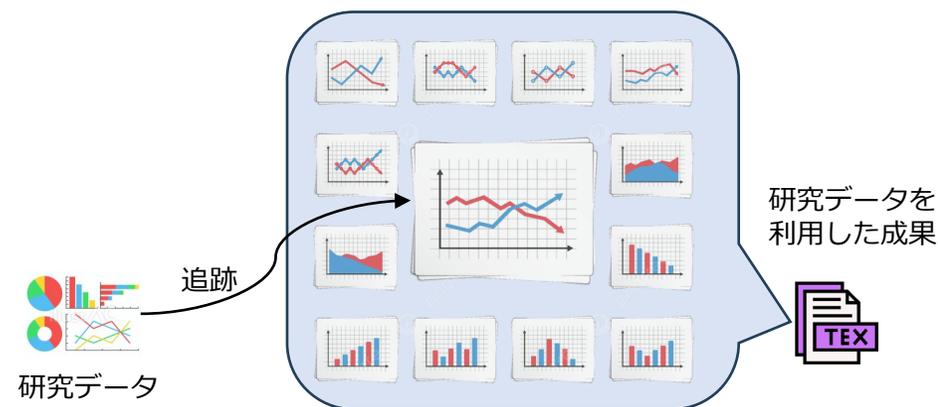
- 研究データが生成・加工・利用される際のさまざまな情報を記録
 - 時間、操作、入力データ、パラメータ、実施者等
- 各々の研究データを結びつけ、研究データが経てきた変遷をトレース

● プロビナンス機能の利用シナリオ

【利用シナリオ：例1】
データの証跡に関連する情報を一括抽出



【利用シナリオ：例2】
研究データがどこでどう使われているかを把握



RCOS